

借入金の状況

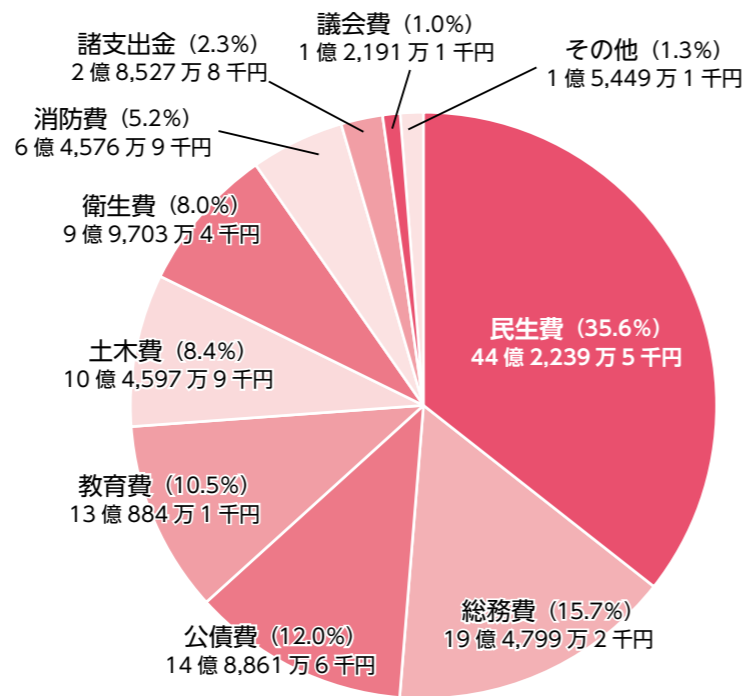
▶ 年度末借入金（地方債）残高 一般会計の残高

令和元年度決算額	約 134 億円
令和2年度見込額	約 128 億円
令和3年度見込額	約 118 億円

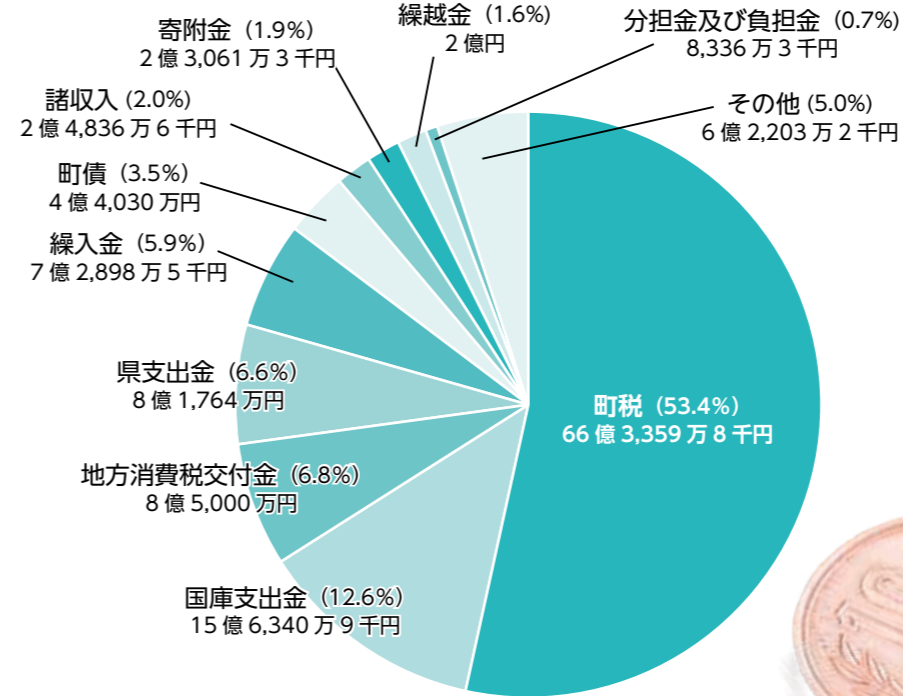
令和3年度は地方道路等整備事業、庁舎等整備事業、令和の森公園整備事業等における事業費の財源を確保するため、借入れを予定していますが、年度末借入金残高については、令和2年度見込額と比較し減額となっています。



一般会計の歳出



一般会計の歳入



令和2年度 一般会計予算額

125 億 9,500 万円

令和3年度 一般会計予算額

124 億 1,830 万 6 千円

令和2年度から
1 億 7,669 万 4 千円の
減額（一般会計）

令和3年度 三芳町の

予算

町では、厳しい財政状況の中、限られた財源を活かしサービスを行っています。税金がどのように活かされているのか。令和3年度予算案の概要をご報告します。
 財政デジタル推進課 415

厳しい財政状況

町の財政状況は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、町税の減収等厳しい状態が続いております。

こうしたなか、令和3年度三芳町一般会計予算案を作成し議会に上程しました。予算が決定することは、町が行っていく事業を決定したことになります。今年度の予算案を公開します。

一般会計の概要

町の自主財源である町税の減収の一方で、「福祉・医療・介護」などの社会保障経費や公共施設の老朽化対策等の将来負担増が見込まれます。これらの将来負担を見据え、限られた財源の中であつても行政サービスの低下にならないよう、既存事業や新規事業等を十分に精査し予算を編成しました。

予算総額は124億1830万6千円、前年度と比較して1.4%の減額となっています。歳入の主なものとしては、町税が全体の53.4%を占め、

国庫支出金12.6%、地方消費税交付金6.8%、県支出金6.6%、繰入金5.9%、町債3.5%などです。

歳出の主なものとしては、民生費が全体の35.6%を占め、つづいて総務費15.7%、公債費12.0%、教育費10.5%、土木費8.4%、衛生費8.0%となっております。

また主な事業としては、オリンピック・パラリンピック事業、藤久保地域拠点整備事業、スマートIC利便性向上促進事業、予防接種事業、農業支援事業、ふるさと納税推進事業、町制施行50プラス1事業などを予定しています。

特別会計の概要

特別会計は、予算を使用する用途が限定されています。一般の歳入歳出予算と区別して行われている会計です。町には国民健康保険、後期高齢者医療、介護保険・地方公営企業法が適用される水道事業、下水道事業の5つの特別会計があります。特別会計の中でも国民健康保

特別会計予算

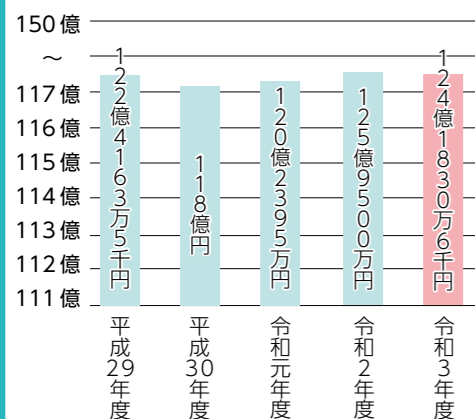
特別会計項目	当初予算等金額	前年比	問い合わせ	
国民健康保険特別会計	3,589,871 千円	0.88%	住民課保険年金 154	
後期高齢者医療特別会計	956,527 千円	77.45%		
介護保険特別会計	2,718,344 千円	△5.84%	健康増進課介護保険 184	
水道事業会計	収益的収入	855,056 千円	1.68%	上下水道課水道業務 上下水道課下水道業務 ☎ 049-274-1014
	収益的支出	840,114 千円	1.13%	
	資本的収入	136,005 千円	29.90%	
下水道事業会計	資本的支出	406,393 千円	20.88%	
	収益的収入	858,593 千円	△2.22%	
	収益的支出	755,196 千円	1.62%	
	資本的収入	76,811 千円	△13.82%	
	資本的支出	266,312 千円	△6.43%	

険は、平成30年度から埼玉県との共同運営になりましたが、依然として厳しい財政状況です。また、後期高齢者医療についても年々被保険者数が増加し、医療費も増加傾向にあります。各保険とも、保健事業や医療費適正化事業に力を入れ、財政運営の健全化につなげていきます。

介護保険は、介護保険事業計画の見直しに伴い、前年度に比べ若干の減少となりました。

水道事業では、継続的な安定給水のため、本年度は配水管布設替と県水受水配水池改修を行います。下水道事業の主な事業は、中継ポンプ場のバイパスゲート更新を行います。

一般会計 当初予算の推移



過去5年間の推移